

第5回 函館市持続可能な町会運営に関する検討委員会 議事録

- 開催日時：令和4年12月26日（月）14：00～14：20
- 開催場所：函館市役所8階大会議室
- 出席委員：奥平委員長，菊池副委員長，石郷岡委員，上野山委員，酒本委員，
中村(馨)委員，中村(和)委員，丸藤委員（計8名）
- 欠席委員：なし
- 傍 聴：なし
- 事務局：佐藤市民部長，鹿磯次長，兵吾市民・男女共同参画課長，
小林主査，奥ヶ谷主査

.....

次 第

- 1 開 会
- 2 議 事
 - (1) 持続可能な町会運営に関する検討委員会とりまとめ(案)について
- 3 その他
- 4 閉 会

1 開会

(事務局 奥ヶ谷主査)

定刻となったので、第5回函館市持続可能な町会運営に関する検討委員会を開催する。

この会議は、原則公開で行っている。また、本日の会議は、15時までには終了を予定しているので、議事の進行に協力をお願いします。

本日の会議の出席数は、オンライン参加の1名を含め、委員8名中8名の出席により、函館市持続可能な町会運営に関する検討委員会設置要綱第6条の規定により本委員会が成立していることを報告する。

ここからの進行は、奥平委員長をお願いします。

2 議事

(1) 持続可能な町会運営に関する検討委員会とりまとめ(案)について

(奥平委員長)

みなさんこんにちは。今日は、お忙しいところお集まりいただき感謝する。この会議も、もう5回目ということで、だいたい前回までで語りつくしているのかなというところではあるが、今日も、まだ修正は可能なので、忌憚のないご意見等ご発言いただければと思う。

それでは、議事の(1)に移らせていただく。前回の会議で出された意見をふまえ、事務局に修正案を作成していただいた。本日は、この修正案について、委員の皆さんに確認をいただき、また、ご発言をいただくということになる。

では、事務局から資料の説明をお願いします。

(事務局 兵吾市民・男女共同参画課長)

－資料1に基づき説明－

(奥平委員長)

みなさん、ご意見などあれば、ご発言をいただければと思う。

よろしいか。本日修正意見がなかったので、検討委員会のとりまとめの内容がおおむね固まったものと判断する。

今後の動きとしては、細部の字句修正等について、正副委員長に一任いただき、最終的なとりまとめにして、市に提出したいと思うがよろしいか。

(委員)

－異議なし－

(奥平委員長)

ありがとうございます。それでは、これで議事を終了する。

3 その他

(奥平委員長)

次に、「次第3 その他」について、委員の皆さんから何かあるか。

よろしいか。それでは、事務局から何かあるか。

それでは、これをもって、函館市持続可能な町会運営に関する検討委員会による検討を終了する。

委員の皆さまにおいては、これまで、お忙しいなかお集まりいただき感謝する。

皆さまのご協力をいただいたことにより、円滑に会議が進行し、数多くの意見を取り入れることができた。そして、大変実りある議論が行われたと考えている。

今回で最後ということなので、これまでの会議を振り返り、委員の皆さま方から、一言ずつご感想などを頂戴できればと思うがよろしいか。丸藤委員から願います。

(丸藤委員)

いろいろな議論をさせていただいて本当に良かったと思う。

私は、町会活性化アドバイザーという立場でも町会と関わらせていただいていたので、その関係なども発言させていただいた。まちづくりや地域づくりを進めていく部分で、やはり、町会の力、ネットワーク、存在というのは欠かせないものであると思うので、何とか、最近、町会よくなったねとか、暮らしやすくなったよねという感じに地域の皆さんが思っただけになるようなになればいいなと思っている。少しでも役に立てるような意見を出せていたとしたらうれしいなと思う。

(中村(馨)委員)

やはり、我々がいつも気にしていた心配なことが、こういった皆さんのなかで議論いただけたことが、本当に良かったなとうれしいなというのが素直な感想である。

また、これから実際に今回の内容をふまえて、町会そのものを育てていくということが必要なかなと思っているので、これに懲りず、また皆さんとこんな話ができる機会があればうれしいなと思う。

(上野山委員)

私は、現場、一番町会に近い立場というか町会の者だったので、結構、いろいろと知ってほしくて話したことがたくさんあった。

やはり、町会の地域の横のつながりというのを大切にしていきたいなと思うけれど、現実には人がいない。しかし、そう言っているだけでは、いろいろ駄目なことがあって、こういった会議でお話しするなかで、地域との関わり方、町会以外の関わり方などいろいろと勉強させてもらったし、気付くことがたくさんあって、本当こういう会があってよかったなと思う。

大きなところでは市だけれども、いざとなったときに頼りになるのは町会だなと思っていて、町民の方に少しでも町会というのがあってよかったなと思ってもらえるように、これからも活動は続けていきたいと思うし、また、そういうことに皆さんを巻き込んでい

けるように、みんなで暮らしやすい町会というか地域をつくってあげればいいなと思っている。いろいろと本当に勉強させてもらい感謝する。

(中村(和)委員)

持続可能な町会運営ということで、実際に町会の運営に関わっている皆さんに、これから私たちが議論したことが役に立ってくれたらなという思いで、毎回参加させていただいた。

そして、今後については、私に関わっている小学校の周りの町会から、何か自分が関わることでお手伝いできることがないかどうか考えていきたいと思う。

また、私たちが目指しているのが、地域で安心して子育てできるような環境を整えるという目的があるので、今、市内にいる子どもたちが、このまちにいてよかったなと、安心して町会の皆さんとか地域の皆さんに支えられて、ここで大きくなって巣立ってもまた戻ってきたいと思えるようなまちづくりに繋がってあげればいいなと考えているので、また、どこかで皆さんとご一緒できることがあれば、よろしく願います。

(酒本委員)

すごく良い内容でまとまったというふうに思っている。事務局、委員長には、本当によくまとめていただいて、私の意見をたくさん取り入れていただいたかなと思っている。

町会の活性化は、これから、これを実践していけば、必ず活性化していくのではないかなというふうに思う。

我々がお手伝いしているいろいろなまちの町内会も、ようやく少しスタートをきって、若い人が入って、解散に追い込まれた町内会がクリスマス会をやるくらい元気になっている町内会もあるので、今回の内容を、ぜひ函館市のほうでも、各町会の皆さんの参考にさせていただいて、一歩でも踏み込んで新たなことにチャレンジしていただきたいなというふうに思う。

(石郷岡委員)

このとりまとめ案にもとづいて、例えば、合併をはじめとした問題が生じたとき、あるいは、それが生じる前などにでも、弁護士や行政書士をはじめとした外部の専門家を、無駄使いと思われることなく積極的に活用していただく、そういう考えが町会の方々に広がってあげれば何よりかなというふうに思う。

(菊池副委員長)

町会の運営について、この委員会の前段階の会議から関わらせていただいているけれども、今回の検討委員会は、持続可能という視点がすごく良いというか素晴らしいなと思っていて、皆さんからもその視点に立って、いろんなご意見お話しを伺うことができ大変勉強になった。

このとりまとめもすごく素晴らしい内容で、今後これをベースにうまく進めてあげればい

いかなと思うのだけれど、何となくこれがゴールのような気がしてしまうので、そうならないように、やはりこれからが大事だと思うので、検討委員会のとりまとめをうまいこと使っていただきたいと思う。

(奥平委員長)

最後に私から一言お礼を申し上げる。こういう公的な場で、たくさん発言されるということは、なかなか勇気があることなのかなと思うのだが、1回目から、皆さん、たくさんご発言いただいたということが、このとりまとめが充実したものになったひとつのきっかけになったのかなと思う。

このような会議で発言をしたものが施策に反映されるということは、皆さんにとってもひとつやっていることの成果ということで、自信につながっていくことかなと思うが、これを先ほど菊池副委員長も仰ったけれど、ゴールとは言わずここからスタートするということで、おそらくデジタル化が懸案になっていくのかなと思っている。

こういったものがひとつでも前に進むということは、活性化につながるものと思うので、自信をもって進めていただければと思う。私からは以上である。

それでは、進行を事務局にお返しする。

(事務局 奥ヶ谷主査)

それでは、最後に、市民部長から一言お礼を申し上げる。

(事務局 佐藤市民部長)

皆様においては、5回にわたり大変貴重なご意見を賜った。そして、このようにとりまとめた結果をもとに、市としても、各町会が前に進むように、あるいは少し改革を進めて新たな町会と言うか未来に向かって進めるように、そんな町会になっていけるように、私たちが後ろからそっと支え、そして、町会連合会と一緒に、ときには伴走しながら支えてまいりたいと考えている。

これまでたくさんの貴重なご意見をいただき感謝する。引き続き、ご理解のほどよろしく願います。

4 開会

(事務局 奥ヶ谷主査)

これをもって、第5回 函館市持続可能な町会運営に関する検討委員会を終了する。